

# いちのみやの芸術文化

- 特集「国際芸術祭『あいち2022』を終えて」
- 一宮市芸術祭アルバム
- エッセイ「自身の世界を探して、今…」
- これからの催し

美術部 尾西作家協会 すきもと和

2023.3

第60号

国際芸術祭「あいち2022」一宮市役所の展示風景  
眞田岳彦 あいちNAUプロジェクト《白維》2022

一宮市芸術文化協会



「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

## 国際芸術祭「あいち2022」を終えて

三年に一度、愛知県で開催される国内最大規模の現代アートの祭典・国際芸術祭「あいち2022」が7月30日から10月10日の73日間、「STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから」をテーマに本市を会場の一つとして開催されました。当初はコロナ禍での開催に不安もありましたが、期間中

は大変多くの人で会場周辺がにぎわい、一宮市会場では過去の他市会場と比較して最も多い13万人以上の来場者を記録しました。今回の国際芸術祭は総勢100組にも及ぶアーティストが参加し、中でも本市ではオリナス一宮での奈良美智さんをはじめ、のこぎり二での塩田千春さん、旧スケート場での

アンネ・イムホフさんなど、名だたるアーティスト19組の作品が10ヶ所で展開され、多くの観客を魅了しました。一宮市の地場産業である繊維をモチーフにした作品も多く、市役所本庁舎一階では、羊毛から造られた眞田岳彦さんの作品《白維》【表紙写真】が公開され、目にされた方も多いのではないのでしょうか。展示内容だけでなく、県内唯一の丹下健三氏の建築で知られる「墨会館」や、大正十三年に旧名古屋銀行一宮支店として建てられ、建築家・鈴木禎次氏が設計したオリナス一宮などの施設そのものにスポットが当たったことも、一つの成果であったと思います。



▲国際芸術祭「あいち2022」  
オリナス一宮の展示風景  
奈良美智  
《Fountain of Life》2001/2022



▲国際芸術祭「あいち2022」  
のこぎり二の展示風景  
塩田千春  
《糸をたどって》2022



▲国際芸術祭「あいち2022」  
旧一宮市スケート場の展示風景  
アンネ・イムホフ  
《道化師》2022



▲国際芸術祭「あいち2022」  
墨会館の展示風景  
レオノール・アントゥネス  
《主婦とその領分》2021/2022



▲一宮市博物館  
「国登録文化財 葛利毛織工業工場とのこぎり屋根」  
林秀樹 《ノコギリノコドウ》



▲三岸節子記念美術館  
「絵本原画ニャー! 猫が歩く絵本の世界」



▶尾西歴史民俗資料館  
「木曾川アートトライアングル」  
宮崎祥子(せんい作家)

国内外から多くの来場が見込まれる国際芸術祭においては、本市としても文化・芸術を広くPRする機会と捉え、国際芸術祭の連携企画事業として博物館で「国登録文化財 葛利毛織工業工場とのこぎり屋根」を、また三岸節子記念美術館では「絵本原画ニャー!猫が歩く絵本の世界」を、尾西歴史民俗資料館では「国際芸術祭会場のまちの歴史と文化〜一宮市・常滑市・名古屋市有松〜」や「木曾川アートトライアングル」、「学校 of アート」を実施しました。

また、名古屋芸術大学と県立木曾川高校、県立一宮起工科高校の学生といった未来のアーティストが一宮駅前の商店街周辺をアートで彩った「いちのみや芸術商店街」や、地元作家の協力により一宮地域文化広場と玉堂記念木曾川図書館で作品を展示した「一宮の作家たち」を企画・実施したほか、『現代アートの楽しみ方』をテーマに開催した「成人教養講座」、一宮駅周辺で歩きたくなくなるまちなかを創出するための取組み「まちなかウォークアブル社会実験×ストリートチャレンジ2022」との連携も行いました。加えて、市民団体らが実施する文化芸術事業に対して助成を行い、市だけでなく市民・団体が一体となって創る一宮市の新しい風景を、市民の皆様にも感じていただくことができたと考えています。

国際芸術祭「あいち2022」を機に文化芸術に関する意識が高まった今だからこそ、今回の取組みを一過性のものとなせず、本市が一層、芸術の薫り漂うまちとなるような取組みを進めて参りたいと思います。

(博物館管理課 村松達樹)



# 7回 芸術祭

(11・12月分)

## 文学部

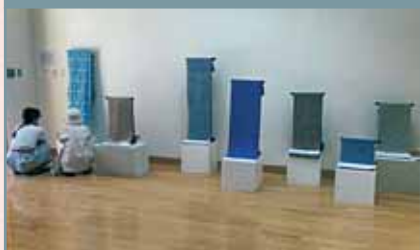
### 俳句大会



11月3日(木・祝)  
一宮スポーツ文化センター  
一宮俳句協会

## 美術部

### 手つむぎ・染め・織り展



11月2日(水)～6日(日)  
玉堂記念木曾川図書館  
尾張もめん伝承会

### 第38回一面会 能・狂言面作品展



11月12日(土)～13日(日)  
アイプラザ一宮  
一面会

### 第31回みづゑ会水彩画展



11月22日(火)～27日(日)  
玉堂記念木曾川図書館  
みづゑ会

### 第67回公益社団法人中部日本書道会一宮支部展



11月26日(土)～27日(日)  
一宮スポーツ文化センター  
公益社団法人 中部日本書道会一宮支部

### 第50回記念公益社団法人 中部日本書道会一宮支部学生書道展



11月26日(土)～27日(日)  
一宮スポーツ文化センター  
公益社団法人 中部日本書道会一宮支部

### 第20回尾西作家協会展



12月7日(水)～11日(日)  
三岸節子記念美術館  
尾西作家協会

### 水絵の会展



12月7日(水)～11日(日)  
三岸節子記念美術館  
水絵の会

### 第19回尾西展



12月14日(水)～17日(土)  
三岸節子記念美術館  
尾西美術連合

### 水彩画アクア展



12月20日(火)～25日(日)  
三岸節子記念美術館  
アクアマリン



# 一宮市

## 開催報告

### 音楽部

#### 尾西ウィンドオーケストラ第89回定期演奏会



11月20日(日)  
尾西市民会館  
尾西ウィンドオーケストラ

#### 一宮三曲協会定期演奏会



11月23日(水・祝)  
木曾川文化会館 尾西信金ホール  
一宮三曲協会

#### 曾山流樹徳吟詠会山瑩会錬成会



11月27日(日)  
尾西商工会館  
山瑩会

#### 一宮市民吹奏楽団第47回定期演奏会



12月4日(日)  
一宮市民会館  
一宮市民吹奏楽団

#### 第63回合同舞踊公演



11月6日(日)  
一宮市民会館  
一宮舞踊協会

#### 濃尾岳風会一宮支部一吟会



12月10日(土)  
一宮市民会館  
濃尾岳風会一宮支部

#### 第11回雅楽フェスティバル



12月10日(土)  
一宮市民会館  
特定非常利活動法人旭雅楽会

#### 尾西芸能祭



11月13日(日)  
尾西市民会館  
尾西芸能祭実行委員会



2月21日(火)〜26日(日)、愛知芸術文化センター8階愛知県美術館ギャラリーを会場に、第47回愛知県文連美術展連美術展が開催されました。本協会からは20名の方が出品され、福岡侑恵加さん(洋画部門)が愛知県文連美術展部門大賞に、速水基司さん(洋画部門)、森茂正さん(洋画部門)が奨励賞に選ばれました。

### 愛知県文化協会連合会の 催し(報告)

#### 第47回愛知県文連美術展

2月21日(火)〜26日(日)、愛知芸術文化センター8階愛知県美術館ギャラリーを会場に、第47回愛知県文連美術展が開催されました。

# 自身の世界を探して、今…

美術部 尾西作家協会 **すぎもと** かず **和**

私は長崎県五島列島の海に囲まれた小さな山村に生まれた。幼い頃はウルトラマンになりたいと思っていた。お相撲さんは怪物だと思ひ、デストロイヤー、仮面ライダー、タイガーマスクは強くて憧れのヒーローだった。

村は人口も少なく小中合同だった。絵を描くことが好きだった私は、小五から中学の美術の先生に油絵の手ほどきを受けた。中学で画家、佐伯祐三のナイフで描く鋭いタッチの画集を見て彼に憧れた。

中学を卒業すると一宮に集団就職した。紡績会社で働きながら定時制高校に通い、ボクシング部に入部した。元WBA世界フライ級チャンピオンの大場政夫の試合に感動し、ボクサーになりたかった。また夜学には人生の出会いもあった。それは美術の先生で、新制作協会所属の彼女からマンツーマンで専門的な事を教わった。

ボクシングの練習は、かなりハードで減量との闘いである。高三

の時に高校総体でベスト8になりスカウトが来た。プロか、大学か、芸大か迷った。四年後にはモスクワオリンピック。美術の先生に相談すると「東京へ行って大学からオリンピックを目指しなさい。若い時しかできないんだから。絵は60歳からでも描ける。」

私は上京し、ボクシングの名門拓殖大学へ入学した。過酷な練習だったが絵を描くことはやめなかった。ボクシングは手の動きが速い。現役時代に描いた自画像は20分で完成した。その頃から赤色に興味を持つようになった。



赤いセーターの自画像(1978年作)  
(段ボールにクレヨン・水彩)

練習の無い日は銀座の画廊や美術館を巡り、いろいろな公募展に出品した。そんな折り冷戦下で日



孤独な戦士(2001年作)

本はオリンピックをボイコットした。私は画家になることを決意した。卒業後は再度一宮へ就職。夜と休日は絵を描いた。リングに上がる前の自身を描いた「孤独な戦士」が、第20回現創展で入選した。ボクシングも

創作も孤独との闘い。つらい減量と同じく忍耐力が必要である。この絵を見ると青春時代に力をもらおう。

前衛画家の岡本太郎、フレスコ画の絹谷幸二の作品に心打たれ、何度も壁にぶつかってもがいた。故郷の海



生命の魚とその仲間たち(2017年作)

のエメラルドグリーンをベースに自身のカラーを見つけ、「こいのぼりとその仲間たち」で第95回記念二科展特選を受賞した。「生命の魚とその仲間たち」【左】は、東日本大震災の復興を願って津波からたくさんの人達や動物を助け出す魚の力強さを描いた。

倉庫をアトリエに改装し、天井を高くして大作に挑戦する毎日。まだこれが自身の求めていた世界ではないと、新しいメルヘンナイプアートの世界を探している。



# 文化情報



「異景」 夫馬 勲

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、掲載している催しや教室などは中止・延期等になる場合があります。開催状況は、問合せ先へお尋ねください。

## 加入団体の催し

### 『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼4月4日(火)・5月2日(火)

6月6日(火) 午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の実作指導や、創作

詩の添削の検討を会員間で行います。(初心者歓迎)

参加料▼年3、000円

申込み▼当日直接会場

### 『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼4月8日(土)・5月13日(土)

6月10日(土) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により

優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

### 『能・狂言面の制作』

【問合せ先 一面会】

☎(69)7372

日時▼4月8日(土)・22日(土)

5月13日(土)・27日(土)

6月10日(土)・24日(土)

午前9時30分〜

会場▼アイプラザ一宮 第5会議室

内容▼実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼月3、000円(見学無料)

申込み▼当日直接会場

### 『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼4月9日(日)・5月14日(日)

6月11日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の3

日前までに電話で芸術文

化協会☎85-7074

### 『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)0282

日時▼4月16日(日)・5月21日(日)

6月18日(日)・7月16日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠2句を実作指導し

ます。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼開催日の前月20日(必着)

までに参加希望日・当季

雑詠2句(初参加の方は

希望者だけ)・郵便番号・

住所・氏名(ふりがな)・電

話番号・参加経験の有無

を記入し、ハガキ〒491-

8501 本庁舎芸術文化協会

### 『瀟聲會漢詩講読会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼4月22日(土)・5月27日(土)

6月24日(土) 午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼「唐詩三百首」を解読しま

す。(初心者歓迎)

講師▼三島徹さん(東洋文化振興会会長)

参加料▼月2、000円

申込み▼当日直接会場

### 『春季謡曲大会』

【問合せ先 一宮謡曲同好会】

☎(62)0966

日時▼4月23日(日)

午前9時30分〜

会場▼尾西生涯学習センター

内容▼素謡、連吟、仕舞等の発表

入場料▼無料

## 『市民川柳教室』

〔問合せ先 一宮川柳社〕

☎(44)7598

日時▼4月23日(日)・5月28日(日)

6月25日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を実作

指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の3

日前までに電話で芸術文化協会(☎85-7074)

## 『サロンコンサート』

〔問合せ先 一宮音楽家協会〕

☎(87)2827

日時▼5月7日(日) 午前11時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼ピアノ・声楽・フルート

等による親しみやすい曲の演奏会です。

入場料▼無料

## 『一宮市民吹奏楽団

## レインボーコンサート2023』

〔問合せ先 一宮市民吹奏楽団〕

☎080(5102)8611

日時▼6月18日(日)

午後1時30分〜

会場▼一宮市民会館

内容▼楽団『おもちゃの国』組

曲『おもちゃの兵隊の行

進曲』『ハウルの動く城』

ファンタジー』などを演

奏します。

入場料▼一般500円

前売400円

中学生以下無料(要整

理券)

## 『尾西ウィンドオーケストラ

## 第90回定期演奏会』

〔問合せ先 尾西ウィンドオーケストラ〕

☎090(7028)9165

日時▼6月25日(日) 午後2時〜

会場▼尾西市民会館

内容▼岩井直博先生生誕100

年記念コンサートを開催

し、『シング・シング・

シング』『アフリカンシン

フォニー』などを演奏し

ます。

入場料▼500円

中学生以下無料(要整

理券)

# 春の市民美術教室

対象●市内在住・在勤・在学の方  
申込み●各教室の申込締め切り日までに電子申請  
または電話で芸術文化協会(☎0586-85-7074)  
※電子申請は一宮市公式ウェブサイトから申し込みできます。

### 油絵『初心者からの油絵教室』

日時●5月19日~6月23日の金曜日  
午前10時~正午(6回)

会場●尾西生涯学習センター

内容●女性モデルを描きながら、油絵の基礎を学びます。

講師●大島麻琴さん(二科会会員、一宮美術作家協会)

定員●20名(抽選、初参加の方優先)

受講料●3,000円(教材費を含む)

申込締め切り日●4月14日(金)



### 写真『楽しく始める芸術写真』

日時●5月14日~6月4日の日曜日  
午後1時30分~3時30分

(4回。5月28日は午前10時~正午)

会場●一宮スポーツ文化センター。5月28日は138タワーパーク

内容●屋外での撮影会を交えながら、写真の基礎を学びます。

講師●一宮写真協会

定員●30名(抽選、初参加の方優先)

受講料●1,000円

申込締め切り日●4月14日(金)



### 書『楽しみま'書' 親しみま'書'』

日時●6月7日~7月12日の水曜日

午前9時30分~11時30分(6回)

会場●一宮スポーツ文化センター

内容●美しい文字を書くための書道の基礎を学びます。

講師●川浦碧濤さん(公益社団法人中部日本書道会)

定員●20名(抽選、初参加の方優先)

受講料●2,100円(教材費を含む)

申込締め切り日●5月15日(月)



[題 字]  
武 山 翠 屋  
[編集・発行]  
一宮市芸術文化協会

[連絡先]  
一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)  
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号  
TEL 0586-85-7074 / FAX 0586-73-9213

バックナンバー



一宮市公式ウェブサイト ページID 1013639